

千代田図書館「としょかんのこしょてん VOL.56」

**映画人の書いた本とその周辺～映画監督を中心に**

千代田図書館内の一角に設けられた、神田古書店連盟との連携展示・出張古書店コーナー「としょかんのこしょてん VOL.56」のご案内です。

今回は、「映画人の書いた本とその周辺～映画監督を中心に」と題し、映画関連本などを扱う矢口書店より、映画人に関する書籍約60点を展示・販売(仲介)いたします。

夏の映画鑑賞や読書のご参考にしていただければと存じます。

としょかんのこしょてん VOL.56

**映画人の書いた本とその周辺～映画監督を中心に**

会期:7月13日(金)～9月12日(水)予定

場所:千代田図書館 出張古書店コーナー「としょかんのこしょてん」

担当:矢口書店(映画・演劇・演芸・シナリオ・戯曲など)

当店(矢口書店)は映画・演劇、演芸書を取っていますが、もちろん、評論家による評論書ばかりではありません。

映画監督は結構本を書いています。それがまた結構面白い。シナリオはもちろん、監督術、自伝、エッセイ、絵、人生論…映画に関係があつたりなかつたり、その内容はさまざま。映画を観てまた本に還るということも一興です。映画体験がもっと豊かになるかもしれません。監督だけでなくスタッフや俳優も、それぞれの視点から、文字で映画の面白さを語ってくれます。

今回は、8人の映画人の著書を集めてみました。あわせて、周辺の資料を展示しています。目で愉しんでいただくとともに、映画鑑賞や読書の愉悦の一助となれば幸いです。

【出品リスト】※出品内容は予告なく変更になる場合があります。

## ① 小津安二郎

言わずと知れた世界的名匠は、膨大な日記も物した。センス抜群で、味のある絵も描いた。

・『小津安二郎戦後語録集成』¥2500

・『小津安二郎 人と仕事』¥38000

・『小津安二郎作品集Ⅱ』¥2000

・『キネマ旬報 No.358 1964年2月 増刊 小津安二郎<人と芸術>』¥4000

## ② 高峰秀子（女優）

子役時代から巨匠の作品に出演。独自の審美眼を持ち、文章に長け、自伝や旅行記も書いた。夫君は脚本家で作家の松山善三氏。

- ・文春文庫『わたしの渡世日記』¥800
- ・『私の梅原龍三郎』¥1000
- ・映画パンフ「名もなく貧しく美しく」¥500
- ・シナリオ文庫「雁」¥1500
- ・シナリオ文庫「二十四の瞳」¥2000
- ・映画台本「女の歴史 決定稿」¥8000

## ③ 山本嘉次郎

黒澤明の師匠としても知られる。博学で、随筆を多く書いている。グルメで知られ、食べ物に纏わる著作も残した。

- ・『東京横浜 300 円味の店』 ¥4000
- ・『カツドウヤ紳士録』¥2500
- ・『カツドオヤという名の人類』¥2500
- ・『カツドオヤ人類学』¥2000
- ・映画台本「狸の休日」¥1000

## ④ 鈴木清順

独特の作風で知られ、カルト映画監督としても評価が高い。俳優としても活躍。その著作もまた、独特の魅力にあふれている。

- ・「花地獄」¥1200
- ・「夢と祈祷師」¥1200
- ・「まちづくし」¥2500
- ・「すっころび仙人の人生論」¥2000
- ・「暴力探しにまちへ出る」¥4000
- ・ロビーカード「刺青一代」¥6500
- ・映画台本「カポネ大いに泣く」¥3000
- ・「アートシアター144 ツィゴイネルワイゼン」¥1200

## ⑤ 大島渚

「松竹ヌーベルバーグ」の旗手といわれ、社会性が高く、常に先鋭的な話題性を伴った作品を発表し続けている。海外での知名度も高く、精力的にテレビ出演もしていた。著作は多数あり、人生論等も物した。

- ・『解体と噴出』¥2000
- ・『戦後映画 破壊と創造』¥2800
- ・『魔と残酷の発想』¥1200
- ・『青春について』¥1000
- ・『同時代作家の発見』¥2500
- ・「アートシアター65 新宿泥棒日記」¥2500
- ・「アートシアター78 東京戦争戦後秘話」¥2000
- ・「アートシアター47 忍者武芸帳」¥1000

- ・「アートシアター69 少年」¥2000
- ・「アートシアター55 絞死刑」¥1800
- ・「アートシアター87 儀式」¥2000
- ・映画台本「東京戦争戦後秘話」¥10000
- ・「Switch 2010年2月号 特集・闘う、大島渚」(参考)

#### ⑥ ジャン・リュック・ゴダール

映画批評誌『カイエ・デュ・シネマ』で批評家として活躍の後、『勝手にしやがれ』等の革新的な作風により、世界的に有名になる。

- ・「ゴダール／映画史Ⅰ・Ⅱ」¥5000
- ・「ゴダール全評論・全発言Ⅰ 1950-1967」¥4000
- ・「ゴダール全集 1」¥5800
- ・映画パンフレット「勝手にしやがれ」¥4000
- ・映画パンフレット「恋人のいる時間」¥1000
- ・「アートシアター50 気狂いピエロ」¥4000
- ・「アートシアター59 男性・女性」¥1500
- ・「アートシアター71 ウィークエンド」¥2000
- ・「アートシアター77 アルファヴィル」¥3500

#### ⑦ フランソワ・トリュフォー

ゴダールと同様、ヌーベルバーグを代表する監督。『カイエ・デュ・シネマ』1954年1月号掲載『フランス映画のある種の傾向』はその攻撃的内容ゆえに有名で、「フランス映画の墓掘り人」とも呼ばれた。彼の恋愛映画には多くのファンがいる。批評の他、映画日誌、書簡集も出版されている。

- ・「ある映画の物語」¥1000
- ・「映画の夢 夢の批評」¥4000
- ・「アメリカの夜」¥1000
- ・「わが人生 わが映画」¥4000
- ・「子供たちの時間」記者署名本 ¥2500
- ・「映画術」¥1900 ヒッチコックとの共著(インタビュー)
- ・「アートシアター54 華氏 451」¥1000

#### ⑧ アンドレイ・タルコフスキー

ソ連の映画監督。「水」や「火」を象徴的に扱い深い精神性を探求、独特の映像美で知られ、熱狂的なファンを持つ。邦訳が多くはない著作もまた人気が高い。

- ・『映像のポエジア』¥6000
- ・『タルコフスキー日記 Ⅰ・Ⅱ』¥6500

(その他 映画人著作周辺)

本件お問合せ先：千代田図書館 広報担当：坂巻 TEL 03-5211-4288

お客様お問合せ先：TEL 03-5211-4289・90／千代田区九段南1-2-1 千代田区役所9・10階